



「富富富」栽培特報

魚津「富富富」ブランド化推進協議会

1 流通基準・品質目標

～基準を遵守し、高品質で美味しい「富富富」ブランドを確立しよう～

| |
|---|
| <p>➤ 流通基準（基準を満たすものを「富富富」のロゴパッケージで販売）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎検査等級：1等 ◎化学合成農薬の成分使用回数：12以内 <p>➤ 品質目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄米水分：14.5%～15.0% ・玄米タンパク含有率（水分15%換算値）：6.4%以下 |
|---|

2 農薬の成分使用回数

～12成分以内になるよう防除計画を立てよう～

「富富富」栽培管理計画を参考にして、防除計画を立てましょう。

基本体系以外の農薬を使用する場合は、事前に地区担当営農指導員に相談してください。

☆成分使用回数のカウント方法

- ・化学合成農薬に含まれる全ての有効成分をカウントする。
- ・同じ有効成分が複数の農薬に含まれる場合、別々にカウントする。

(例)

| 剤の区分 | 薬剤名 | 有効成分 | 成分数 | 考え方 |
|------|--------------|-------------|-----|----------------|
| 苗箱施薬 | フェルテラ箱粒剤 | クロラントラニプロール | 1 | クロラントラニプロール 1回 |
| 殺菌剤 | モンカットフロアブル | フルトラニル | 1 | フルトラニル 1回 |
| 殺虫 | ラブサイドK2フロアブル | エチプロール | 1 | エチプロール 1回 |
| 殺菌剤 | | フサライド | 1 | フサライド 1回 |
| 殺虫剤 | スタークル液剤10 | ジノテフラン | 1 | ジノテフラン 1回 |
| 合計 | | | 5 | 成分使用回数:5回と数える。 |

※農薬の成分使用回数には、次の①～⑤に該当する「農薬」や「成分」は含めません。

- ①微生物農薬（タフブロックなど） ②銅、ボルドー ③カスガマイシン
④バリダマイシン ⑤スピノサド

3 育苗

～健全な苗づくり～

- ・コシヒカリに比べて芽の伸長速度が遅いので、コシヒカリより1～2日長く浸種してください。
- ・ハウスへの搬出直後から積極的な換気を行い、軟弱気味な苗にならないよう管理してください。

4 苗箱施薬剤の散布

～除草剤と間違えないように使用前に袋のラベルを確認～

| 農薬名 | 使用方法 | 対象害虫 | 成分数 |
|----------|-----------------------------------|------------------------------------|-----|
| フェルテラ箱粒剤 | は種時覆土前～移植当日 50g/箱を育苗箱の上から均一に散布 | イネズリウムシ、イネトオイトムシ、 コメテウ、コメノメイガなど | 1 |

※前年に紋枯病などの病害が発生した場合は、地区担当営農指導員にご相談ください。

5 基肥の施用

～適正な施肥量を施用する～

- ・基肥チッソ量は、コシヒカリ栽培時の2割減が基準です。

| 施肥体系 | 肥料名 | 施肥量の目安 (kg/10a) (側条) | |
|------|-------|----------------------|-------|
| | | 砂壤土 | 洪積 |
| 一発 | 富富富専用 | 24～28 | 20～28 |
| 分施 | 基肥206 | 20～28 | 16～30 |

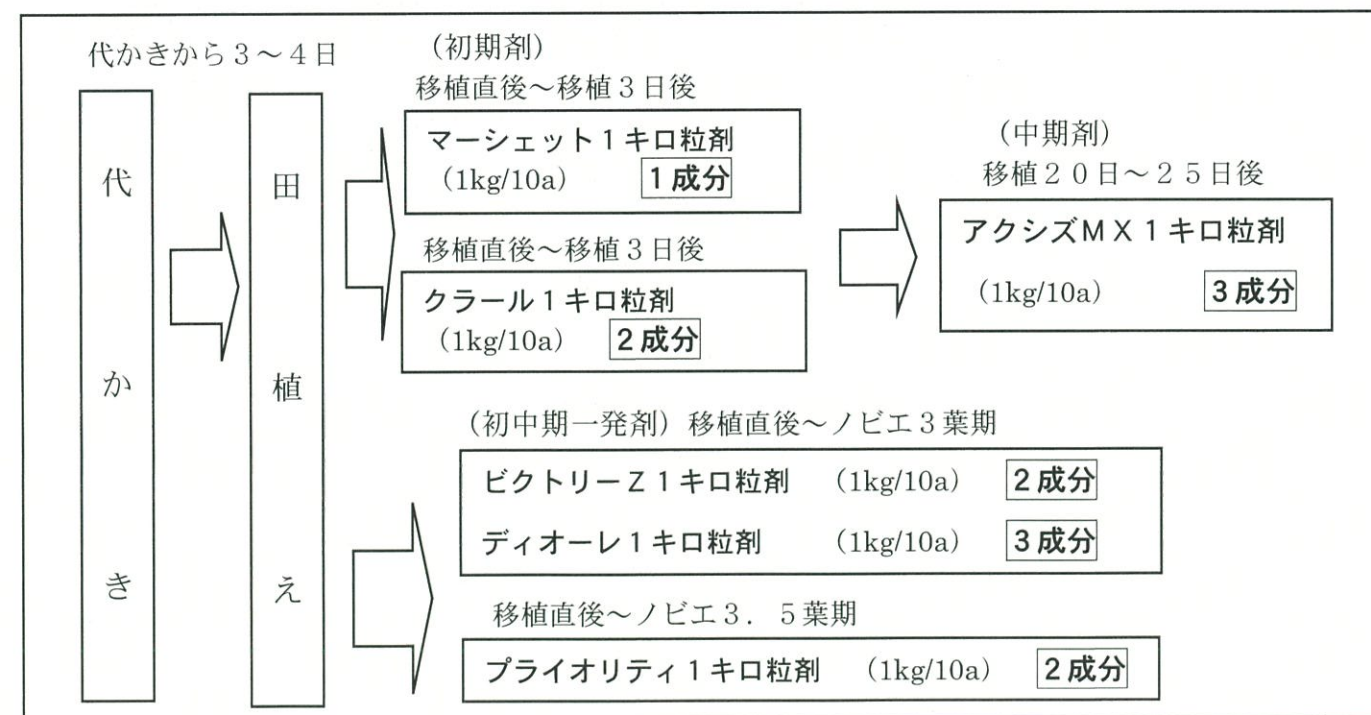
※発酵鶏ふんなどを春施用した場合や転作跡田では、施用量の目安からさらに1割程度減肥する。

※去年の富富富単収が450kg以下の場合、施用量の目安に1割程度増量を検討してください。

6 除草剤の散布

～使用方法を厳守し、適期に散布する～

- ・初めて「富富富」を作付けする場合は、異品種の漏生苗の抜き取り作業を軽減するため、初期除草剤（マーシエット1キロ粒剤）を必ず散布しましょう。



※初期剤を田植同時処理した場合は、田植え終了後、速やかに入水しましょう。

7 水管理

～適切な水管理に努める～

- ・「富富富」は、草丈がコシヒカリに比べて短く、深水にすると苗が水没し、徒長しやすくなるとともに、初期分げつの発生が抑制されるので、注意しましょう。